

ローム本社と株主総会会場で訴え

ローム社員や株主が
大きな関心を寄せる

チャーターバスで 前日深夜出発

○OKIセミコンダクタに働く従業員と地域経済を心配する八王子地域の労働組合や電機労働者懇談会・電機ユニオン・八王子労連など「連帯する会」の支援者たちを乗せてローム本社のある京都に向けてバスは6月25日22時に八王子駅前を出発しました。

翌日、4時頃に大津インターに到着し、そこで早い朝食をとりました。昇ってくる朝日が印象的で車中での疲れも和らぐほどの美しさでした。途中で京都総評や電機懇関西などの支援者たちも合流し7時半にローム本社前に到着。

ローム社員に訴える

横断幕を掲げ、ハンドマイクで訴えるとともに3ヶ所でビラ配布。「昨年の分社化・株式譲渡後に正規・非正規を問わず多くの従業員が退職に追い込まれた事や地域の商店街に多大な影響が出ている事」また「親会社であるローム社は社会的責任を果たすように」と訴えたところ、ほとんどの従業員の方々が関心を示しビラを受け取り職場に持ち込みました。

ローム株主に訴える

株主総会が開かれるホテル前での宣伝でも多くの株主がビラを受け取ったり「地元の企業だから株主になつていくが人減らしは駄目だ」と話しかけてくる来る方もいて盛り上がりました。総会には「連帯する会」の米田（元沖）さんが参加し「職場や地域商店街などの実情を話し親会社としての責任

を果たしてほしい」と訴え、終了後には社長に「八王子に来てほしい」と話しかけると「行ってみよう」と返事がありました。



OKIセミコンダクタは
誘致企業としての社会的責任を果たせ！

オアシス

2009年
8月12号

OKIセミコンダクタの職場を明るくする会

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006

<http://oak47-02.web.infoseek.co.jp>

職場新聞「オアシス」はOKIセミと関連企業の職場新聞です。東京のオアシスとして世界に誇る高尾山が身近にあることから命名しました。

ローム株主総会での発言要旨と感想

米田徳治さん（元沖電気）

沖電気が半導体事業をOKIセミコンダクタに分社化、「労働条件の変更はない」として昨年10月にローム社（本社・京都市）に860億円で売渡した途端、首切りと広域配転のリストラが強行されている。半世紀におよぶ半導体工場（東京・八王子市）が解体されようとしている。

株主総会に大型バスで八王子から京都へ

6月26日ローム社の株主総会に大型バス1台で八王子から京都に深夜バスで参加。京都総評、関西電機懇の仲間と合流し、ローム本社前、株主総会前で横断幕とハンドマイクで宣伝し700枚の配布。「ローム社の宣伝は京都市民のロコミでじわじわきいてきます」と京総評事務局長の話。株主総会への質問状（26項目）に回答があり、社長に現場の実態と半世紀に渡る事業活動による地域住民の思いを聞いてもらうことにした。

発言の趣旨は、

- ① 沖電気八王子工場は50年間、半世紀にわたって事業活動を八王子の地で行ってきたこと。
- ② 沖電気からOKIセミコンダクタの親会社が変わったからといって、すぐに撤退をするということは許されない。社会的責任を果たしてほしい。
- ③ せつかく、860億円もかけて買収した半導体事業、きちんとローム社の責任で続けてほしい。
- ④ 撤退ということになればそこに働く労働者はもとより、家族・何よりも子供に犠牲が及ぶこと。地域産業界に大きな影響を与えている。
- ⑤ 現在の経済環境、特に半導体事業の環境は厳しいということは承知しているが、だからこそ、ローム社の真価が問われている。

佐藤研一郎社長の答弁は、

「何もしないで捨てるということでない」「沖の半導体事業、買収を持ちかけたのは私のほうでないが、なんとかいい事業として、形にしてほしい」「できることは協力させてもらう。『沖セミの役員の方にはぜひともがんばってほしい』というのが私の考えです。」という趣旨の答弁。

総会終了議長席前で、「佐藤さん是非八王子に来て実情を見てほしい」との私の問いに、「八王子、高尾山、有名なんですね。八王子は、京都とよく似ているということを聞いています。ぜひ時間があれば、行って見たいです」との返事。社長答弁と現場の実態には乖離があるが、引き続き対話を続けて行きたいと考えている。総会参加者に京都の老舗の女将さんらしき方が多いようにも見受けられた。帰りには参加者にお土産袋が配られびっくりした。

《心配事、困っている事、また意見、要望をお寄せください》

OKIセミコンダクタの仲間と連帯する会 TEL 042-623-8046
FAX 042-623-8346